

# 手引き(素案)の検証作業について

---

# 手引き(素案)の検証作業①

## 1. 手引き(素案)の実用性・正確性等について検証を行う。

- 検証については、手引き(素案)の内容に沿って、実際に企業にCO<sub>2</sub> 排出量を算定してもらい、問題点の抽出及び解決の方向性の提示を行う。
- 企業の選定は、環境ディスクロージャーに前向きで、グローバルに事業展開し、かつグループ企業が多い企業の中から依頼することとした。  
→ 東レ株式会社とオリンパス株式会社に協力依頼。
- 検証作業進捗状況
  - ①東レ株式会社では、本体に加え関連会社の物流データを取得して、国際間輸送の計算を実施
  - ②オリンパス株式会社には、物流データを提供してもらい、日通総研で計算を実施  
オリンパス株式会社が持っているシステムでの算出結果と対比予定

## 手引き(素案)の検証作業②

### 2. 検証すべき事項

- 手引き(素案)の算定フローに沿ってスムーズにCO<sub>2</sub>排出量が算定できるか
  - (子会社の算定を1社ずつ進めていく)算定フローの考え方に問題はないか?
  - 同一企業グループ内の取引による重複排除の手法?
- 複数種類による計算法・原単位による差のチェック
  - 算定ツールのマスタに採用する原単位に適しているのは?
  - 輸送機関、船種等に応じて細かく原単位を設定することの是非?
- 原単位、距離、重量等、算定のためのデータ→何か不足はないか?
- より正確な情報(原単位、距離等)を取得するインセンティブが働くか
  - CO<sub>2</sub>の数値が小さくなるか?
- 企業のCO<sub>2</sub>削減努力が反映されるか→「見える」「評価できる」仕組みは?
- 作業負荷は許容できる範囲か →さらに負荷を軽くするためには?
- 企業の担当者が集計・計算を進める際に、何がボトルネックになっているか?
- 開示フォーマットの妥当性 →実際に数字を当てはめてみて、見やすいか、理解されやすいか?